

ビデオ+プレゼンテーション教材作成テンプレートツール



smart PREO v1.1

ユーザーマニュアル

(サイト公開用は一部割愛させていただいております)

サイト公開用

SP10D271129s

はじめに

smart PREO は、ビデオとプレゼンテーションスライドを組み合わせた e ラーニング教材コンテンツを制作できるテンプレートツールです。

ビデオとスライドの同期、目次など各種情報の設定は Microsoft Excel で行うので、話し手の様子を撮影したビデオと、その時使用したスライドのファイルがあれば、簡単にビデオ講義解説型の e ラーニング教材を作成することができます。

さらに表示レイアウトの変更、ナレーションテキストの表示など学習効率を高める機能を備えるとともに、フラッシュアニメーションを使用した、より表現力の高いコンテンツを作成することも可能です。

また、Adobe Flash Player で再生されるため受講環境を選びません。

同一法人内であれば利用に制限のないエンタープライズライセンス、SCORM1.2 と SCORM2004 の両対応、ご要望に合せた機能の拡張やデザイン変更に対応（有料）等既存の環境に柔軟に適応します。

この smart PREO が、皆様の e ラーニング教材作成の効率化と、学習効果向上の手助けとなりますことを願ってやみません。

SATT smart シリーズ開発チーム

2010 年 4 月 9 日

もくじ

◆ 基本事項	3
必要システム構成	3
受講環境	3
制作環境	3
画面各部の名称と機能	4
チャプター操作	6
ファイル構成	7
◆ コンテンツの作成	8
表示ファイルの準備	9
構成ファイルの準備・配置	9
データ作成用エクセルシートでのコンテンツ設定	10
設定ファイルの出力	13
教材の確認	14
サーバーへの配置	14
学習履歴の管理（SCORM仕様）	14
◆ フラッシュアニメーションスライドの作成	15
P2S Converterを使用したアニメーションスライドの作成	15
Adobe Flashを使用したアニメーションスライドの作成	17
◆ デザイン、機能のカスタマイズ	17
◆ 資料	18
設定可能なHTMLタグについて	19
Excelのマクロセキュリティレベルの変更	20
Flash Player セキュリティの設定について	21
連絡先	22

◆ 基本事項

必要システム構成

受講環境

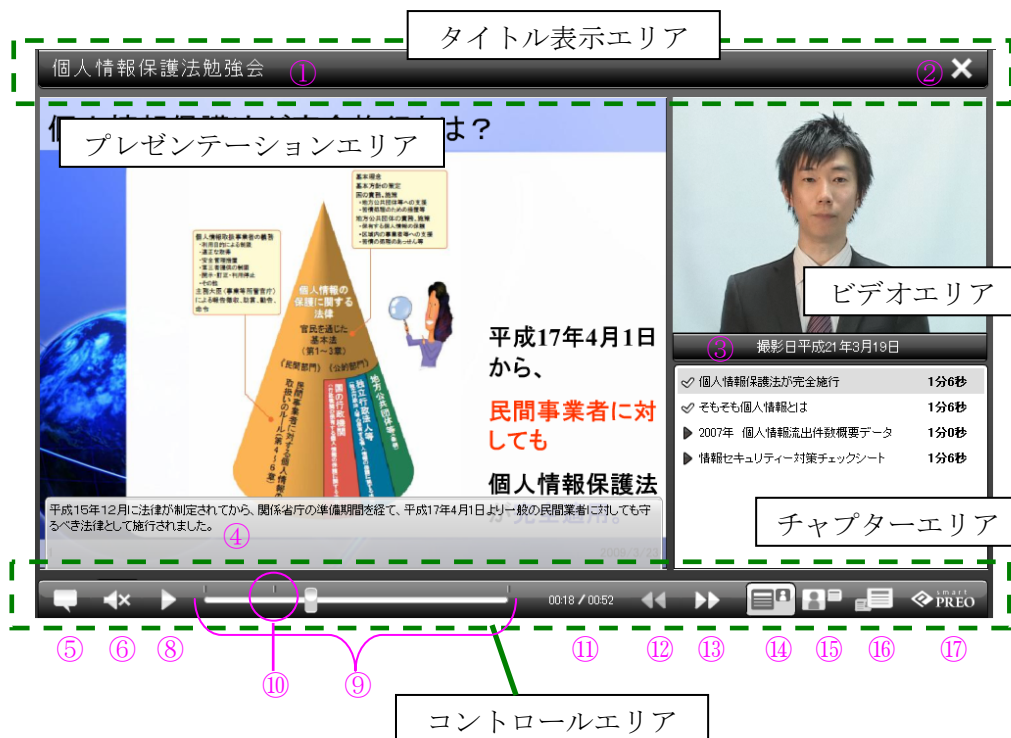
分類	再生に必要となるスペック
CPU	Intel Pentium 4 以上
OS	Windows 2000 / XP / Vista / 7
メモリー	128MB 以上の空き容量
ブラウザ	Internet Explorer 6.0 以上、FireFox 2 以上
ネットワーク環境	ブロードバンド (ADSL 8Mbps 以上推奨)
プラグイン	Adobe Flash Player 9 以上
ディスプレイ	1024×768 ドット 以上、HighColor (16bit) 以上が表示可能なもの
サウンド	サウンドカード、スピーカーまたはヘッドホン

制作環境

分類	制作に必要となるスペック
CPU	Intel Pentium 4 以上
OS	Windows 2000 / XP / Vista / 7
メモリー	256MB 以上の空き容量
ブラウザ	Internet Explorer 6.0 以上、Firefox 2 以上
プラグイン	Adobe Flash Player 9 以上
ディスプレイ	1024×768 ドット 以上、HighColor (16bit) 以上が表示可能なもの
サウンド	サウンドカード、スピーカーまたはヘッドホン
編集用アプリケーション	Microsoft® Office Excel 2003 / 2007

- この他、教材を各受講者に配信する際にサーバー環境が必要です。詳しくは各 LMS のマニュアルをご覧ください。
- 弊社製オープンソース LMS、Attain3 については、以下のサイトをご覧ください。
<http://satt.jp/products/attain3.htm>

画面各部の名称と機能



タイトル表示エリア

- ① タイトル
全体のタイトルを表示します。
- ② [終了]ボタン
コンテンツを終了します。

ビデオエリア

ビデオを再生する領域です。

チャプターエリア

チャプター移動・視聴状況表示の機能を持つ目次を表示する領域です。

- ③ [関連情報] 表示
ビデオ等に関連する情報を表示します。

プレゼンテーションエリア

画像や Flash アニメーションなどスライドを表示します。

- ④ 字幕パネル
ナレーションテキスト等を表示します。

コントロールエリア

- ⑤ [字幕の表示/非表示] ボタン

[④字幕パネル] の表示/非表示を切り替えます

- ⑥ [音声の ON/OFF] ボタン

- ⑦ 音量バー

⑥にカーソルを合わせると出現するスライダーです

- ⑧ [再生/一時停止] ボタン

コンテンツの再生/一時停止を行います

- ⑨ シークバー

チャプター内の再生位置を表示、移動します

- ⑩ Cue ポイントマーク

画像の切り替え、スライドのアニメーション等、変化ポイントを示します

- ⑪ 時間表示

現在再生位置/チャプター再生を「分：秒」で表示します

- ⑫ [前のチャプターを表示] ボタン

前のチャプターにジャンプします

- ⑬ [次のチャプターを表示] ボタン

次のチャプターにジャンプします

- ⑭ [スタンダード表示] ボタン

標準レイアウトで表示します。左がプレゼンテーションエリア、右がビデオエリア、通常の画面表示です



[スタンダード表示]

- ⑮ [ビデオメイン表示] ボタン

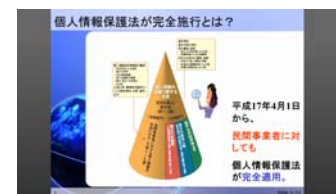
[スタンダード表示] より、ビデオエリアとプレゼンテーションエリアを入れ替えて表示します



[ビデオメイン表示]

- ⑯ [プレゼンテーションエリア拡大表示] ボタン

プレゼンテーションエリアを全画面表示にします。マウスカーソルを下段に近づけるとコントロールエリアを表示します



[プレゼンテーションエリア拡大表示]

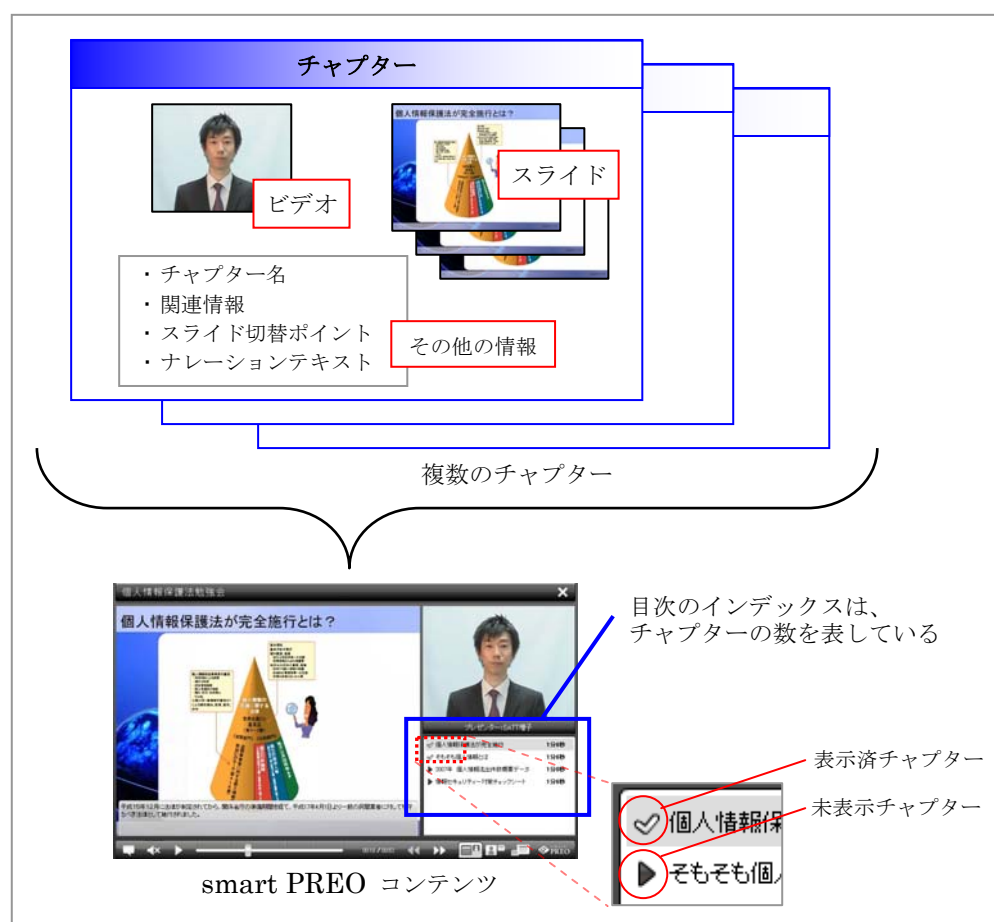
- ⑰ [情報] ボタン

情報ダイアログを表示します

チャプター操作

smart PREO は1つのビデオファイルを [チャプター] として、1～複数の単位で構成されています。

さらにチャプターは、1～複数のスライドと、その他の情報から構成されます。



- smart PREO を起動すると、自動的に1つ目のチャプター（目次の1行目）がスタートし、ビデオの進行に合わせて画像・ナレーションテキストが切り替わります。シークバーの表示は、チャプター内の再生位置を示します。
- 1つ目のチャプターの再生が終了すると自動的に次のチャプターが再生され、全てのチャプターが再生されると停止します。
- [前のチャプターを表示] [次のチャプターを表示] ボタン及びチャプターエリアの目次を選択することでチャプターを移動することができます。
- チャプターは表示されると、目次の行頭にあるアイコンが変化し視聴済みであることが確認できます。

ファイル構成

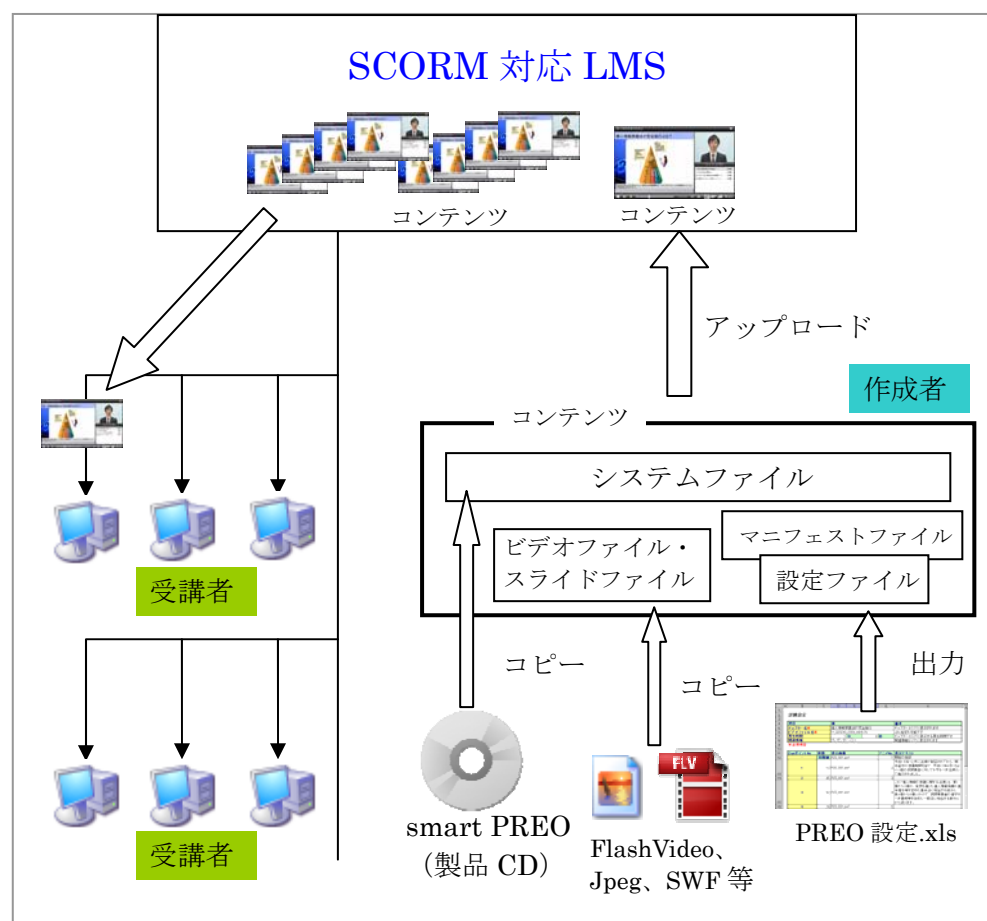
コンテンツファイル構成、及び CD 内全ファイル構成は以下のとおりです。

(公開用マニュアル非表示項目です)

◆ コンテンツの作成

作成から LMS 登録までの流れ

1. smart PREO で表示するビデオファイルとスライドファイルを用意します。
2. コンテンツ設定用「PREO 設定.xls」を Microsoft Excel で開き、タイトル、ビデオファイル、スライドファイル、スライド切替タイミング等の必要な情報を入力し「設定ファイル」および「マニフェストファイル」を出力します。
3. 「PREO 設定.xls」から出力されたファイル、CD に収められている「システムファイル」、用意した「ビデオファイル」、「スライドファイル」を一組として SCORM 公開用サーバーにアップロードします。
4. LMS 等で公開のための設定を行い受講が可能となります。



注意: smart PREO では、通常のアプリケーションのようなインストール作業はありません。
コンテンツの作成は、CD の smart PREO フォルダ全体をハードディスクなどにコピーして行います。

表示ファイルの準備

smart PREO には、ビデオファイル・スライドファイルを作成編集する機能はありません。これらの用意は、それぞれ目的に合わせたプログラムを別途用意していただく必要があり、ここでは各ファイルの作成要件について記述します。

ビデオファイル

対応する ファイル形式	Flash ビデオ (.flv) (Flash Video Exporter を使用する場合はバージョン 1.1 以上を推奨) H.264 Flash ビデオ (.f4v) mpeg4 ビデオ (.mp4)
表示サイズ	横 320pic 縦 240 pic (スタンダード表示) 横 640pic 縦 480 pic (ビデオメイン表示)
推奨再生長	10 秒以上、30 分以内

スライドファイル

対応する ファイル形式	JPEG (.jpg、.jpeg) PNG (.png) GIF (.gif) Flash ムービー (.swf) (ActionScript 3.0 作成、又は P2S Converter での出力ファイルを推奨)
表示サイズ	横 640 pic 縦 480 pic (スタンダード表示) 横 320 pic 縦 240 pic (ビデオメイン表示) 横 774 pic 縦 580 pic (プレゼンテーションエリア拡大表示)

※ 使用するビデオファイル名・スライドファイル名は、通常、半角英数を使用してください。

※ ビデオ・スライドともに、視聴させたい表示形式サイズで作成することを推奨します。(スタンダード表示ならば、ビデオ[320×240]、スライド[640×480])

構成ファイルの準備・配置

- CD の「smart PREO」フォルダをローカルディスクにコピーします。
- 用意したビデオファイルを [movie] フォルダにコピーします。
- 用意したスライドファイルを [image] フォルダにコピーします。
- [EXCEL マクロ] フォルダ内の [PREO 設定.xls] ”読み取り専用”属性を解除します。

データ作成用エクセルシートでのコンテンツ設定

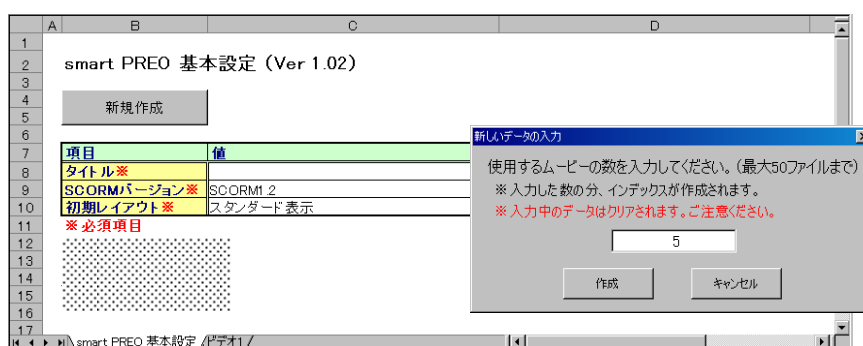
コンテンツの設定は、データ作成用エクセルシートに入力することにより行います。ここでは、設定の方法、注意事項およびヒントについて記述します。

Excel を起動

1. 「PREO 設定.xls」を開きます。
2. セキュリティ警告が出たら [マクロを有効にする] をクリックします。
Excel のセキュリティ設定については、「◆資料：Excel のマクロセキュリティレベルの変更」をご覧ください。

<詳細設定シートの作成と基本設定>

3. 「smart PREO 基本設定」が表示されます。



4. [新規作成] ボタンを押して [新しいデータの入力] ダイアログを表示させ、コンテンツのチャプター数を入力した後 [作成] ボタンを押します。入力したチャプター数分の「詳細設定」シートが作成されます。
5. 「smart PREO 基本設定」の値を設定します。

タイトル※	タイトルエリアに表示されるタイトルを設定します。 単一行で最大全角で約 45 文字まで表示できます。
SCORM バージョン※	プルダウン選択式、LMS の SCORM バージョンを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 「なし」 履歴の送信は行いません。 また、マニフェストファイルの出力も行いません。 • 「SCORM1.2」 SCORM1.2 対応 LMS に搭載させる場合に選択します。 • 「SCORM2004」 SCORM2004 対応 LMS に搭載させる場合に選択します。
初期レイアウト※	プルダウン選択式、コンテンツ起動時のレイアウトを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 「スタンダード表示」 • 「ビデオメイン表示」 • 「プレゼンテーションエリア拡大表示」

※必須項目

< 詳細設定 (チャプターごとの設定) >

「ビデオ1」と表示されているシートが1つ目のチャプターとなります。以降、シートの順番がチャプターの順番となります。

6. シートごと各値を設定します。チャプターの表示と同時に秒数「初期値」行に入力した情報が表示されます。

項目	値	備考
チャプター名※	個人情報保護法が完全施行	チャプターエリアに表示されます
ビデオファイル名※	11_320240_200k_m64k.flv	URL指定も可能です
再生時間	1分 6秒	チャプターエリアに表示する再生時間です
関連情報	プレゼンター:○×	関連情報エリアに表示されます
※ 必須項目		

CueポイントNo	秒数	表示画像	アニメNo	表示テキスト
-	初期値	P2S_001.swf		1 開始の接辞
1	12	P2S_001.swf		2 平成15年12月に法律が制定されてから、関係省庁の準備期間を経て、平成17年4月1日より一般の民間業者に対しても守るべき法律として施行されました。
2	45	P2S_001.swf		3
3	62	P2S_001.swf		4 この「個人情報の保護に関する法律」は、第1章から3章の、官民を通じた個人情報保護の基本理念等を定めた基本法に相当する部分と、第4章から6章にかけて、民間事業者の遵守すべき義務等を定めた一般法に相当する部分とから成ります。
4	76	P2S_001.swf		5

上段

チャプター名※	ここで設定したテキストが目次としてチャプターエリアに表示されます。全角で約 20 文字まで表示可能です。
ビデオファイル名※	ビデオエリアに表示する[movie]フォルダ内のビデオファイル名を入力します。サーバーなどに配置されたファイルを表示する場合はアドレスを入力します。大文字小文字を区別して拡張子を含めてください。
再生時間	チャプターごとの再生時間を表示したい場合に入力します。
関連情報	ビデオの下に表示されるテキストです。講演者名や撮影場所、撮影日付などの情報を任意に入力します。

※必須項目

下段

表示画像	プレゼンテーションエリアに表示する、[image]フォルダ内の画像等ファイル名を入力します。大文字小文字を区別して拡張子を含めてください。
秒数	画像等スライド表示・ナレーションテキストを変更するタイミングを秒単位、整数値、降順で入力します。
表示テキスト	字幕パネルに表示するテキストを入力します。全角で約 56 文字×4 行までが枠内に表示可能で、それ以上のテキストを設定した場合はパネル内でスクロールして表示します。
アニメ No	P2S Converter で出力した SWF ファイルを表示画像に使用する場合は、表示するアニメーション番号を入力します。

データ作成用エクセルシート設定のヒント

- ビデオファイル名は、URL を指定して他のストリーミングサーバー等にあるファイルを指定することができます。(html、rtmp 等のプロトコルから入力してください。smart PREO と同一のドメインにあるものに限ってサーバーの設定など必要なく接続します。)
- 詳細設定シート、下段で空欄を設定した場合の動作

秒数	<ul style="list-style-type: none"> • 空欄行より下に入力した情報はないものとして扱われます
表示画像	<ul style="list-style-type: none"> • それより前の表示を維持します
表示テキスト	<ul style="list-style-type: none"> • それより前の表示を維持します
アニメ No	<ul style="list-style-type: none"> • 秒数「初期値」行のみ、先頭のアニメが表示されます。 • 秒数「初期値」行以外、スライドが表示されなくなります。 • P2S Converter にて出力したファイル SWF 以外では、この項目の入力は無視されます

- 上の行と同じ内容を設定した場合の動作

秒数	<ul style="list-style-type: none"> • 同一の数値を入力した場合は、シート下段に入力された内容が表示されます。秒数に他の行と同一の数値を入れることは避けてください。
表示画像	<ul style="list-style-type: none"> • 表示に変化はありません
表示テキスト	<ul style="list-style-type: none"> • 表示に変化はありません
アニメ No	<ul style="list-style-type: none"> • 上の設定に関係なく、指定したアニメーションが表示されます • P2S Converter にて出力したファイル SWF 以外では、この項目の入力は無視されます

※ P2S Converter にて出力した SWF ファイルは、「表示画像」、「アニメ No」を必ず入力してください。また、存在しないアニメーション番号を指定した場合はスライドが表示されなくなります。

- 表示テキストでは、HTML タグを使用して文字スタイルを変更、リンクを設定するなどの設定をすることができます。詳しくは「◆資料：設定可能な HTML タグについて」をご覧ください。
- Cue ポイント（画像、アニメーション、表示テキストの表示タイミング）は 1 シートに最大 100 アクションまで設定できます。
- 設定の実施途中でチャプターを追加・削除したい場合は、ビデオ設定シートをコピー・削除等の操作でシート数を増減してください。基本設定の新規作成によりビデオ設定シートを追加すると、既に入力された情報が全て削除されますのでご注意ください。
- チャプターの最大設定数は 50 です。

設定ファイルの出力

データ作成用エクセルシートに情報を入力後、設定ファイルを出力します。

出力手順

(公開用マニュアル非表示項目です)

教材の確認

必要な設定等が終了した後、コンテンツを再生して確認を行います。

「preo.html」をダブルクリックしてコンテンツを起動させ、想定した通りの表示および動作をしているか確認してください。

注意：ローカルファイルのコンテンツを実行するには、Flash Player のセキュリティの設定が必要になる場合があります。詳しくは「◆資料：Flash Player セキュリティの設定について」をご覧ください。

サーバーへの配置

作成したコンテンツの公開のためには、サーバーにアップロードを行います。必要なファイルは「smart PREO」フォルダ内の「EXCEL マクロ」フォルダを除く全てのファイル・フォルダです。起動ファイルは「preo.html」です。なお、サーバーへのアップロード、LMS への登録は各 LMS の操作方法に従って行ってください。

学習履歴の管理（SCORM仕様）

「PREO 設定.xls」の「SCORM バージョン」設定で、「SCORM2004」または「SCORM1.2」を選択した場合、以下のように実行履歴が smart PREO と LMS との間で送受信されます。

設定場所	SCORM1.2	lesson_status	lesson_location	session_time	suspend_data
	SCORM2004	completion_status	location		
起動時		取得する	取得する	—	取得する
終了ボタン押下時		全てのチャプターを参照→ completed 前回の sutatus が completed の場合→ completed 上記以外→ incompleted	移動後のチャプター番号	設定する	チャプターの参照状態

SCORM のバージョンによって送受信される変数は異なりますが、いずれも、各チャプターの参照状態と修了ステータスをやり取りします。SCORM2004 バージョンの場合は、ステータスは completion_status のみ送られ、

success_status は送られません。

◆ フラッシュアニメーションスライドの作成

P2S Converterを使用したアニメーションスライドの作成

P2S Converter とは、MicroSoft PowerPoint ファイルより、設定したアニメーション・画面効果を保持したままフラッシュアニメーションファイル (SWF) に変換する、Jetsoft 社製のアドインです。

smart PREO では、この P2S Converter にて変換されたスライドを表示し、設定されたアニメーションを番号指定により表示させることができます。

(P2S Converter の購入につきましては弊社 SATT(株)にご相談ください)

<準備>

1. P2S Converter をインストールします。(インストールについては P2S Converter のマニュアルをご覧ください。)
2. インストールが完了すると、PowerPoint のツールメニューに「SWF 変換」という項目が追加されます。

<設定>

1. smart PREO のスライドに使用する PowerPoint ファイルを開きます。
2. ツールメニューで「SWF 変換」を選択すると、ダイアログが表示されます。以下の内容を参考に設定を行ってください。設定は一度行くと次回以降は保持されます。

オプション>フレームレート	「30.0」 fps
オプション>サイズ	100% (プレゼンテーションデフォルトサイズの場合)
オプション>Flash Version	「9」
オプション>AS Version	「3.0」
特殊>背景クリック不可	チェック
Loading>Loading 表示	チェックなし
HTML>HTML 出力	チェックなし
ナビ>ナビゲーションの使用	チェックなし

以上の設定が smart PREO で使用する最適な設定です。(その他の設定項目については P2S Converter のマニュアルをご覧ください。)

<SWF ファイルへの変換出力>

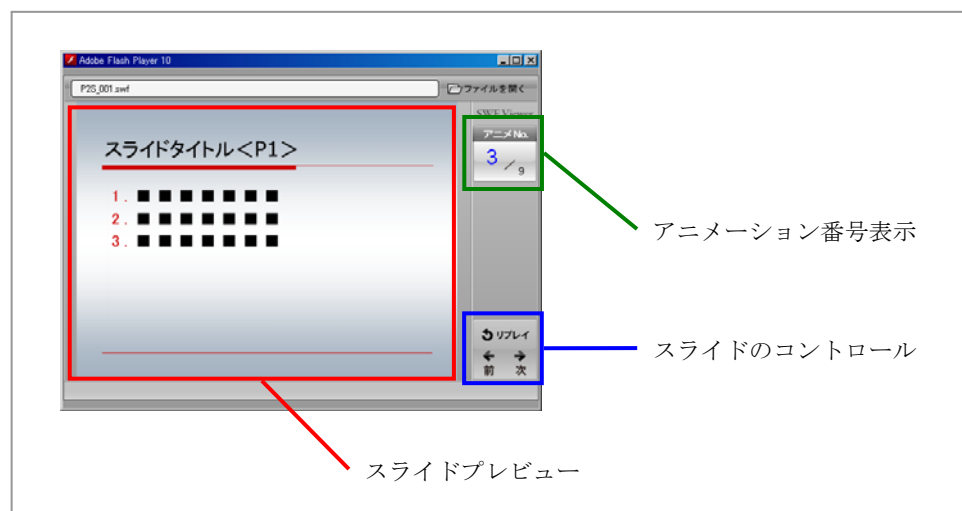
1. ツールメニューに「SWF 変換」を選択し、ダイアログで上記の設定を行った後に「変換スタート」ボタンを押します。
2. 変換が開始し、終了すると通知されます。

<smart PREO での使用>

1. 作成された SWF ファイルを smart PREO の「image」フォルダに移動します。
2. 「PREO 設定.xls」詳細設定シートに、作成されたファイル名とアニメーション番号を入力します。

なお smart PREO には、この SWF ファイルをプレビューするための補助ツール「SWF Viewer」が付属しています。これを使用することにより表示とアニメーション番号を確認することが可能です。（詳しくは SWF Viewer のマニュアルをご覧ください。）

SWF Viewer 1.0



<制限事項>

ムービー・サウンドファイルが配置された PowerPoint スライドを P2S Converter にて変換して作成された SWF ファイルは、smart PREO では動作保証外としています。smart PREO で使用する際はムービー・サウンドを含まない PowerPoint スライドを変換してください。

Adobe Flash を使用したアニメーションスライドの作成

Adobe Flash にてスライドを作成する場合の注意点等について記述します。
smart PREO での使用するための最適設定は次の通りです。

フレームレート	30.0 fps
ステージサイズ	<ul style="list-style-type: none"> ● 横 640 pic 縦 480 pic (スタンダード表示が主対象) ● 横 320 pic 縦 240 pic (ビデオメイン表示が主対象) 横 774 pic 縦 580 pic (プレゼンテーションエリア拡大表示が主対象) ● それ以外のサイズでは横縦比率 (4 : 3) での作成を推奨
対象プレイヤー	Flash Player 9 以上
スクリプト	ActionScript 3.0
タイムライン	表示時間以上のタイムライン長、もしくは最終フレームに「 stop(); 」を設定
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 第 1 フレームにステージと同サイズのオブジェクトを (X : 0、Y : 0) に配置 ● 第 1 フレームには、ステージの外にオブジェクトを配置しない

注意：上記の条件を満たす Flash のバージョンは CS3 以上となります。それ未満のバージョン、または ActionScript2.0 以下で出力した場合は、ビデオファイルとの同期が確保されません。

◆ デザイン、機能のカスタマイズ

smart PREO は汎用性が高く、官公庁、企業、学校など様々な場所でご使用になれるよう開発されていますが、独自の機能を加えたい、デザインを変更したい、現在使用している LMS にあわせたいなどのご要望をお持ちの場合は、ご要望に合わせた機能の拡張やデザイン変更など、貴社・貴校専用の独自カスタマイズを行うことが可能です。お気軽にお問い合わせください。

◆ 資料

smart PREO 仕様

名称	SATT smart PREO (スマート プレオ)
分類	ビデオ+プレゼンテーション教材作成テンプレートツール
主な機能	<ul style="list-style-type: none"> • ビデオ・スライド同期表示 • 表示レイアウト切替 スタンダード (ビデオ、スライド、チャプター) ビデオメイン (ビデオ、スライド、チャプター) プレゼンテーションエリア拡大 (スライド) • ナレーションテキスト表示/非表示 • 関連情報表示 (任意) • ビデオチャプター チャプター間自由移動 最大ビデオチャプター数: 50
画面サイズ	横: 980pic × 縦: 580pic (ブラウザ内部サイズ)
対応する SCORM	<ul style="list-style-type: none"> • バージョン SCORM 1.2、SCORM 2004 • 履歴 学習時間、学習進捗 (学習中/学習済) • 動作検証済みLMS SATT Attain3
対応するビデオ形式	<ul style="list-style-type: none"> • Flash ビデオ (.flv) • (Flash Video Exporter を使用する場合はバージョン 1.1 以上を推奨) • H.264 Flash ビデオ (.f4v) • mpeg4 ビデオ (.mp4)
対応するスライド形式	<ul style="list-style-type: none"> • JPEG (.jpg、.jpeg) • PNG (.png) • GIF (.gif) • Flash ムービー (.swf) (ActionScript 3.0 作成、又は P2S Converter での出力ファイルを推奨)
制作・販売	エスエイティーター株式会社

設定可能なHTMLタグについて

Excel の PREO 設定.xls、「ビデオ」シートの「表示テキスト」項目では、以下のようなタグを使い文字スタイルの変更をすることができます。

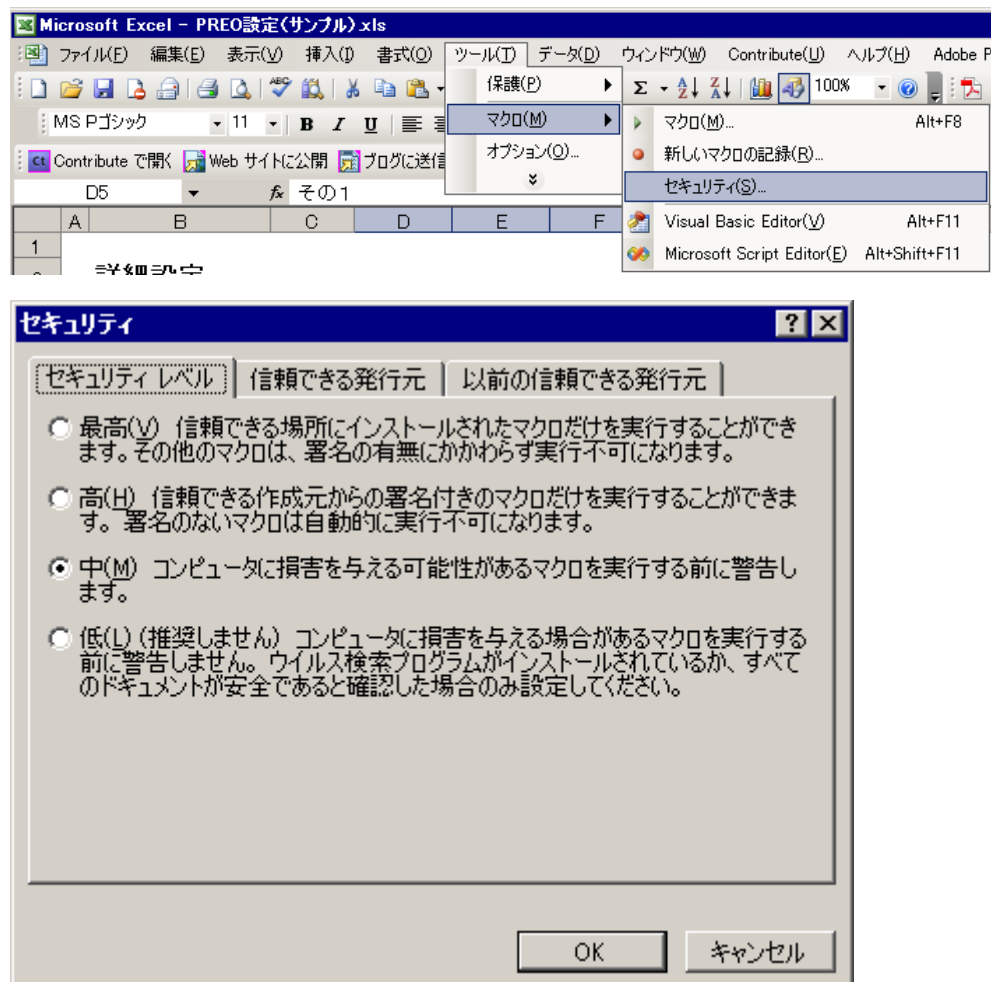
設定可能 HTML タグ一覧

種類	タグ	属性	説明
アンカー	<a>~	target	ページを読み込む先のターゲットウィンドウの名前を指定します。(オプション_self、_blank、_parent、_top)
		href	URL を指定します。
ボールド	~		テキストをボールドで表示します。
ブレーク	 		テキストフィールドに改行を作成します。 Excel セル内で改行を行っても同じ効果があります。
フォント	 ~	color	16 進数のカラー(#FFFFFF)値で指定します。
		face	使用するフォントの名前を指定します。
		size	フォントのサイズを指定します。
イメージ		src	URL を指定します。
		width	ピクセル単位の幅を指定します。
		height	ピクセル単位の高さを指定します。
		align	水平整列 left、right で指定します。
		hspace	イメージの周りの水平方向の空白の量を指定します。
		vspace	イメージの周りの垂直方向の空白の量を指定します。
イタリック	<i>~</i>		テキストをイタリックで表示します。
リスト項目	~		テキストの行頭に箇条書き記号を表示します。
段落	<p>~</p>	align	新しい段落を作成します。値 left、right、justify、center でテキストの整列を指定できます。
テキストフォーマット	<textformat> > ~ </textformat>	blockindent	ブロックのインデントをポイント単位で指定します。
		indent	左マージンから段落の先頭文字までのインデントを指定します。
		leading	行間の行送り(垂直の行間隔)を指定します。
		leftmargin	段落の左マージンをポイント単位で指定します。
		rightmargin	段落の右マージンをポイント単位で指定します。
下線	<u>~</u>		テキストには下線が引かれます。

Excelのマクロセキュリティレベルの変更

「PREO 設定.xls」を使用するには、Excel のセキュリティレベルを「中」に設定する必要があります。「高」以上に設定されている場合には、起動時にアラートがでますので、その指示に従いセキュリティレベルを「中」に変更してください。

なお、この設定は「PREO 設定.xls」のシート上部にある[初期化]ボタンと「XML ファイルの出力」ボタン（マクロ）を有効にするためです。セキュリティは、ツール>マクロ>セキュリティから、セキュリティダイアログを開いて、「セキュリティ レベル」タブで変更することができます。

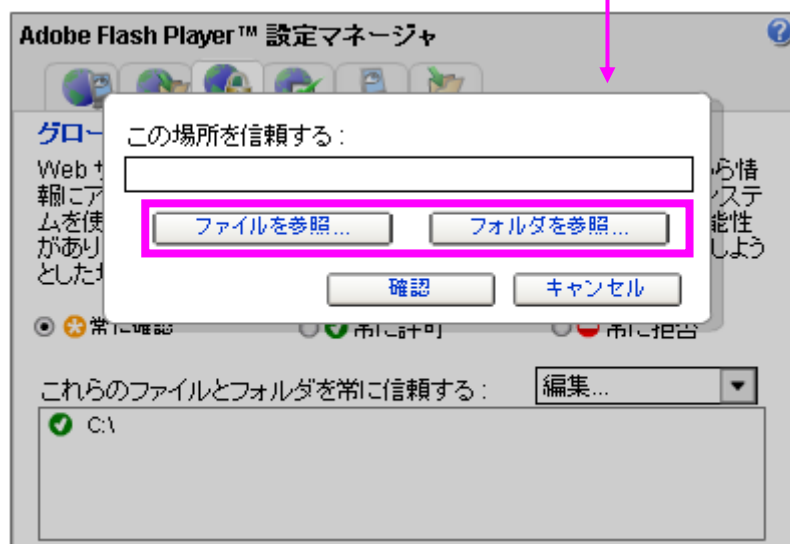
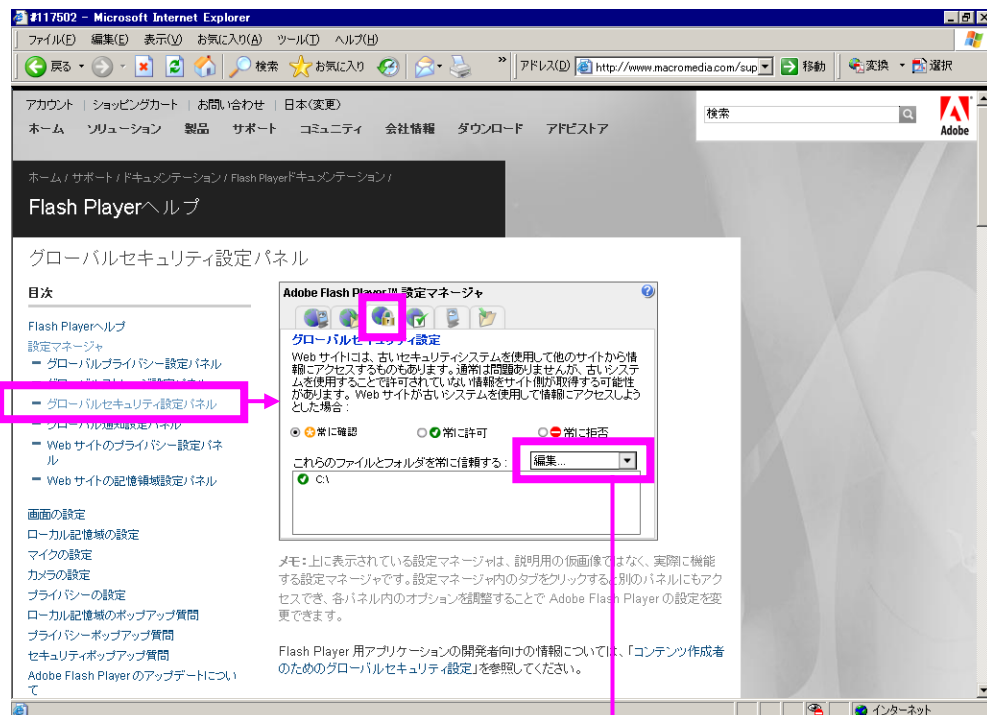


その変更を有効にするには、一度 Microsoft Excel を終了する必要があります。

Flash Player セキュリティの設定について

smart PREOをローカルファイル上で実行する場合、Flash Playerのセキュリティの変更が必要な場合があります。詳しくは下記をご参照ください。

http://www.macromedia.com/support/documentation/jp/flashplayer/help/settings_manager04.html#117502



Flash Player ヘルプページで、「グローバルセキュリティ設定パネル」を開いて、「編集」の横にある▼を押し、ローカルにある smart PREO フォルダか、preo.swf ファイルを信頼する場所として指定します。

連絡先

- エスエイティーティー株式会社
商品販売担当
E-mail: service@satt.jp
Tel: 03-5259-3390

参考URL

- エスエイティーティー株式会社
URL: <http://satt.jp/>
- 弊社商品情報ページ
<http://satt.jp/products/index.htm>

2010年4月26日

以上